

名寄市立総合病院 薬剤師募集案内



◇名寄（なよろ）市について



名寄市の
観光キャラクター
「なよろう」
です！

旭川から車で約1時間30分、札幌からだと車で約3時間。
北北海道に位置する、人口約25,000人のまち、名寄市

「ちょうどいい」が見つかるまち。 名 寄 市

人口たった25,000人の名寄市は札幌や旭川と比べると“**田舎**”ですが、市内には、イオンをはじめショッピングセンターがあり、自衛隊や税務署、法務局、労働基準監督署などの官庁もあり、公立大学や国内で2番目に大きな望遠鏡を設置している天文台、スキー場、カーリングホール、ゴルフ場やボウリング場などの施設もある。JRだって特急が停まるし、国道が2本、高規格道路もある。

農業が基幹産業の名寄市は、“超ど田舎”ではなく実は生活基盤が一定程度整っている“**ちょうどいい田舎**”なんです。

名寄市は、北海道の住みよさランキングで、これまで10年以上5位以内にランキングされ続けています。

名寄市といえば？

「死ぬまでに行きたい！世界の絶景 日本編」の表紙を飾った ひまわり畑



生産量日本一 あの赤福にも
使われるもち米



昼夜の寒暖差による甘みの強いグリーンアスパラ

糖度20度オーバーも珍しくないスイートコーン



名寄のもち米で作られたソフト大福



雪質日本一を誇る
ピヤシリスキー場

◇病院概要

○病床数 3 5 9 床

- ・一般病床 300床 (ICU 8床、NICU 3床)
- ・精神科病棟 55床
- ・感染症病床 4床

○入院基本料

- ・一般病床：急性期一般入院料 1 (7 対 1)
- ・ICU 病棟：ハイケアユニット入院医療管理料 1 (4 対 1)
- ・地域包括ケア病棟：地域包括ケア病棟入院料 2
- ・精神科病棟：13対1入院基本料

○診療科目 2 2 科

内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、心療内科、精神科、放射線科、麻酔科、救急科 ※常勤医不在

◇病院の特徴

1. 医療圏の範囲が広い（四国 4 県に匹敵する）
2. 道北三次医療圏の地方センター病院に指定されている
3. 〔地域〕救命救急センター（日本最北）に指定されており、一次救急から三次救急まで担当している
4. 地域周産期母子医療センターに指定されており、周産期医療や小児医療にも対応している
5. 地域密着および地域完結型の医療を目指している

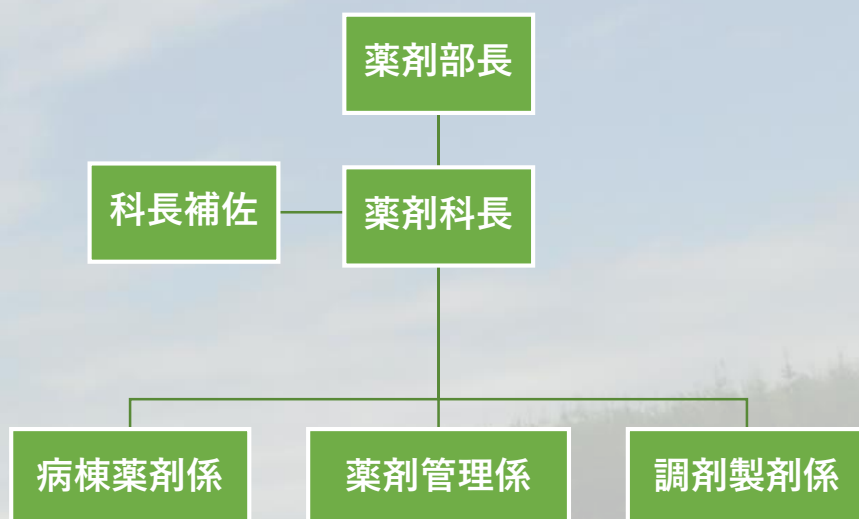
◇薬剤部の概要

薬剤部では薬剤師11名、薬剤補助7名で業務を行っており、医師や看護師など他の医療スタッフと連携を取りながら、医薬品を介して患者さんの治療に役立つよう努めています。

○薬剤部の体制

- ・所属薬剤師 11名（男性10名、女性 1名）
- ・出身大学 北海道科学大学 3名、北海道医療大学 7名
第一薬科大学 1名

・組織図



○薬剤師が関わっている届出事項

【入院基本料】

栄養サポートチーム加算、感染対策向上加算1、術後疼痛管理チーム加算、後発医薬品使用体制加算1

【医学管理・指導料等】

連携充実加算、薬剤管理指導料

【投薬・注射】

外来化学療法加算1、無菌製剤処理料

【精神科専門療法】

抗精神病特定薬剤治療指導管理料

○業務内容

1. 調剤・製剤業務

調剤室では、医薬品の適正使用を図るため、医師から処方された薬の飲み方や量、飲み合わせ(相互作用)や重複投与などのチェックを実施し正確に調剤をしています。また、化学療法に使用される注射点滴薬、さらに高カロリー輸液、末梢輸液の混合調製を行っています。専用の無菌室、安全キャビネットが設置されており、外来および入院患者さんにより安全な医薬品の提供を行っています。さらに、院外の調剤薬局との連携を強めて患者さんの入院・退院後の継続した薬物治療に協力しています。

医師が診療を行う上で、必要とする医薬品が全て市販されているとは限りません。需要が少ないものは製薬会社では製造しておらず、そういった場合医師のニーズに応え薬剤師が病院内で製剤を行い供給しています。



2. 薬品管理業務

医薬品の適正な在庫管理を行い、適切な条件で保存管理し、品質に優れた安全な医薬品を提供しています。また、注射薬の供給において入院患者さんに使用される注射薬を注射処方せんに従って患者さん毎に取り揃え、カートにセットして病棟に供給する業務を行っています。



3. 病棟薬剤管理業務

入院中の患者さんには、薬剤師が服薬指導・薬歴管理を行いチーム医療の一員として適切な薬物療法の提供に努めています。各病棟に薬剤師を配置し、他の医療スタッフと連携し患者さんが安心して薬を服用できるよう様々な情報の提供を行っています。



○チーム医療へのかかわり

1. 院内感染対策チーム（ICT）、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）

病棟などにおける感染症発生の確認、感染源や感染経路の把握等を院内感染対策チームが抗菌薬適正使用に関するコンサルや特定抗菌薬の使用状況の把握などを抗菌薬適正使用支援チームが行っています。

薬剤師は抗菌薬・消毒薬の使用状況の把握や適正使用の指導、TDMや消毒薬の抗微生物効果の評価などの役割を担い、力を発揮しています。

2. 栄養サポートチーム（NST）

NSTでは、症例に応じた適切な栄養管理方法の選択と実施や栄養障害の早期発見と栄養療法の早期開始など多職種専門スタッフが、それぞれの知識や技術を出し合い、患者さんにもっともふさわしい方法で栄養状態を良好に保てるよう活動しています。

その中で薬剤師は輸液療法の選択・調剤の指導や助言、患者・家族への服薬指導などを行っています。

3. 認知症ケアサポートチーム（DCT）

当院では、認知症ケアに関する質の向上および重症化の低減を図るため、認知症ケアサポートチームを設置しています。

その中で薬剤師は、専門的な知識のもと、認知症症状の増悪に対する適切な薬剤使用の選択や、せん妄に対する適切な向精神薬の薬剤選択と使用上の留意点について助言をしています。

4. 緩和ケアチーム

当院の緩和ケアチームは、主にがん患者さんの苦痛緩和を目的に活動しており、回診やオピオイドカンファを行い、適切にオピオイドが使用されているか、苦痛緩和が図れているか確認しています。

その中で薬剤師は、痛みや症状の変化に応じて必要な薬剤や適正量を検討し、医師との仲介役を担いながら、患者さんの苦痛緩和が図れるよう関わっています。

5. 褥瘡対策チーム

院内における褥瘡発生や予防に対して活動している褥瘡対策チームにおいては、22年の診療報酬改定に伴い、薬剤師もメンバーとして参加しており、褥瘡治療での創部および皮膚トラブルに対して、専門的な視点から外用薬の選択の助言をしています。

6. 術後疼痛管理チーム

当院の術後疼痛管理チームは術前/術中/術後の患者さんの痛みや吐き気といった苦痛を緩和する専門チームです。

薬剤師は、薬剤の効果や副作用の評価、評価を踏まえた薬の提案や薬剤の適正使用に係る患者指導など医師等と連携し、患者さんに質の高い術後疼痛管理が提供できるよう努めています。

◆薬剤師の処遇

- ・勤務時間 平日月～金 午前8時15分～17時00分
平日及び休日夜間は当直、休日日中は日直業務
- ・基本給 6年卒：255,400円、4年卒：230,000円 ※いずれも新卒者の場合
※毎年1月に定期昇給あり
- ・手当 期末勤勉手当 年2回
6月 2.3ヶ月分（期末1.25ヶ月、勤勉1.05ヶ月）
12月 2.3ヶ月分（期末1.25ヶ月、勤勉1.05ヶ月）
寒冷地手当 9月 世帯主 扶養あり 147,800円
世帯主 扶養なし 81,000円
その他 57,500円
その他手当 時間外手当、扶養手当、通勤手当、住居手当、宿直手当

〈参考：平均年収〉※賞与、各種手当含めた総支給の平均

30代：約588万円、40代：約755万円

- ・赴任旅費 採用内定後に当院着任時に規定により支給
- ・休暇 有給休暇（年20日）、リフレッシュ休暇（3日）、病気休暇、
産前産後休暇、育児休暇、特別休暇など
- ・社会保険 北海道市町村職員共済組合に加入
- ・退職金 北海道市町村職員退職手当組合に加入
- ・福利厚生 名寄市立総合病院職員福利厚生会に加入
ビールパーティーや忘年会の開催、院内玉入れ大会、各種慶弔費、
クラブ活動助成、宿泊利用助成など
- ・学会発表 道内・道外の学会への参加や発表の際には出張として旅費を支給して
います。（部内で割振り）
- ・院内保育所 子育て中でも安心して働けるよう、病院に勤務する職員のお子さんを対
象にした院内保育所を設置しています。（新保育所H29年完成）



ビールパーティーの様子



つぼみ保育所（院内保育所）



全国自治体病院学会in沖縄での様子



R6年度病院歓迎会

◆先輩に色々聞いてみました！



大橋 諒太
北海道医療大学卒
H28年度採用（8年目）

Q & A インタビュー

Q 「病院」に就職しようと思ったのはなぜですか？

A カルテを参照することで、患者さんの経過、医師の処方意図を確認して薬剤を払い出すことができるからです。また、調剤薬局では門前の病院により処方が左右され、偏りが出るため、様々な診療科にかかわることができる総合病院に就職しました。

Q なぜ都市部ではなく、地方の病院に就職しようと思ったんですか？

A 自分の国家試験の時は、国試の合格率高く、札幌の病院は飽和状態でした。総合病院希望だったので、地方で知人がいる名寄を選択しました。

Q 名寄市立総合病院はどんな病院ですか？

A 救命救急センターに指定されている道北三次医療圏の地方センター病院です。病床数は359床、旭川以北の広域な医療圏をカバーしています。

Q 名寄市立総合病院で働くことの強みは何だと思いますか？

A 同年代の病院薬剤師よりも給料が高い。残業申請や有給休暇が取得できる。公務員なので助成が使える施設がある。

Q 名寄は住みやすいですか？また、こういった点が住みやすいと思いますか？

A 冬以外は住みやすいです(笑)イオンもあります。

Q 病院でかつ地方だとプライベートが確保できなさそうですが、実際はどうですか？

A 世間が狭い感じはしますが、噂話が好きなのはどこでも一緒かなと。

ある日のスケジュール

8:00 出勤
8:15 始業
調剤業務
11:30 無菌調製業務
12:30 昼休み
13:30 病棟業務
17:00 終業（退勤）

▼調剤業務



▲無菌調製業務



【学生へのメッセージ】

働き始めると長期休暇はどうしても取るのが難しくなるので、旅行なんかは学生のうちにたくさんしておくのがおすすめです

Q 実際に「病院」で働いてみてどうですか？

A 様々な職種と関わることができて楽しいです。

Q 働く前と後で「病院」での仕事のイメージは変わりましたか？

A もっと恐い所かなと思っていたのですが、優しい方が多く、印象がガラリと変わりました。

Q 新卒者でも地方で働いていけますか？

A 大学毎の派閥もないですし、札幌等の都市部の大病院よりも、いろんな学校の卒業生がいる地方の方がむしろ働きやすいと思います。

Q 名寄市立総合病や薬剤部の雰囲気はどんな感じですか？

A 直接、部長や科長に相談や意見をすることができ、風通しがよい職場だと思います。

Q この地域において、薬剤師が関わっている取組みの中で特徴的な取組みは何ですか？

A 周辺にクリーンベンチ設備を所有する調剤薬局が無いので、外来患者の輸液ミキシング、払い出しを行っています。

Q 名寄や周辺でおすすめのスポットはありますか？

A 下川町のアポロ、土別市の花のとも、剣淵町の駅前食堂が美味しいです。名寄だとヴィクトリア、すき屋、多寄にサムライ、土別市に山岡家があります。

◆先輩に色々聞いてみました！

中西 皓

北海道薬科大学卒
H27年度採用（9年目）



ある日のスケジュール

8:00 出勤
8:15 始業
調剤業務
11:30 無菌調製業務
12:30 昼休み
13:30 カンファレンス
14:00 服薬指導・病棟業務
16:30 委員会・会議
17:00 終業（退勤）

▼調剤業務



▲業務の相談中の様子

Q & A インタビュー

Q 「病院」に就職しようと思ったのはなぜですか？

A 学生時代に病態生理学が得意ではなく、処方せんから病態を予想する事が苦手だったため、医師の診察記事や検査値などが電子カルテでみられる病院で病態への理解を深めたいと考えたことがきっかけです。

Q なぜ都市部ではなく、地方の病院に就職しようと思ったんですか？

A 奨学金があった事が大きいです。あと出身地だったためです。

Q 名寄市立総合病院はどんな病院ですか？

A 旭川以北～稚内までの道北地域の拠点病院として広い範囲の患者が集まる病院です。2次救急だけでなくドクターヘリも来る3次救急にも一部対応する事から幅広い症例について学ぶ事ができる病院です。

Q 名寄市立総合病院で働くことの強みは何だと思いますか？

A 幅広い症例について学ぶ事ができる点が強みです。また広域地域の拠点病院かつ公立病院なので長く安定して働く事ができると思います。

Q 名寄は住みやすいですか？また、どういった点が住みやすいと思いますか？

A 市が大規模ではないためイオンなどの商業施設や病院、市役所などの距離が近いです。車があると便利ですが自転車でも十分に移動できます。

Q 名寄や周辺でおすすめのスポットはありますか？

A 天文台やスキー場、キャンプ場などレジャー施設があります。熊さんなど野生動物も運が良ければ会えます。

【休日の過ごし方】

薬剤部内では、写真を撮るのが趣味の人や猫師の人などアウトドア派の人や自宅でインドアに過ごす方もいますので、どちらの人也大歓迎です(笑)

Q 実際に「病院」で働いてみてどうですか？

A 電子カルテから情報を得るだけでなく、医師や看護師、その他医療職との距離も近く、カンファレンス以外でも相談したら、より専門的な内容について教えてもらえます。

Q 働く前と後で「病院」での仕事のイメージは変わりましたか？

A 実務実習で3か月間研修を行っていたため大きくイメージの乖離は有りませんでした。

Q 新卒者でも地方で働いていけますか？

A 十分に働いていけます。看護師・医師など他職種も新卒者が毎年入職するため、研修会で勉強もできますし、同期で飲み会もあるので、他職種と交流を深められ、一緒にレベルアップしていくことができます。

Q この地域において、薬剤師が関わっている取組みの中で特徴的な取組みは何ですか？

A 地域包括ケア病棟にて薬薬連携を進めるほか、地域医療連携推進法人 上川北部医療連携推進機構として他の市立病院と医薬品の共同購入や地域フォーミュラリーの整備など病院間でも連携を進めています。

Q 病院でかつ地方だとプライベートが確保できなさそうですが、実際はどうですか？

A 残業が無いわけではないですが有給休暇・リフレッシュ休暇などの休暇制度も充実しているため、プライベートは確保できます。

◆その他の取組み・制度

・学資金の貸与

薬剤師を養成する施設（学校・大学）の第4学年以上に在学する者で、卒業後に薬剤師として名寄市立総合病院に勤務しようと考えている方を対象に学資金を貸与します。卒業後直ちに名寄市立総合病院に薬剤師として学資金貸与期間に相当する期間を継続して勤務した時は学資金の返還を免除します。

※ほかの奨学金または貸与制度との併用も可能です。

※詳細については病院までお気軽にお問合せください。

・奨学金返還支援制度

NEW

薬剤師として、名寄市立総合病院に就職する学生などの奨学金返還に対して、助成金を支給し、返還をサポートする制度が始まりました！

（対象者） 薬剤師として名寄市立総合病院に採用される方

（助成額） 月の実返還額を助成し、上限60万円/年（5万円/月）

※返済する奨学金＋利息の額

（期 間） 最長8年間

※詳細については病院までお気軽にお問合せください。

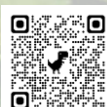
◆実習受入・病院見学

・実習受入

北海道医療大学や北海道科学大学の実習を積極的に受け入れています。実習指導者もあり、有意義な実習を送れるよう努めています。また、実習を通して、当院の雰囲気や担っている役割なども知ることができます。

・病院見学

病院見学の申込みも随時受け付けいています。こういったことを見学したい！などの希望に応えた病院見学を調整していますので、少しでも興味があったり、気になっていれば、お気軽にお問合せください。



◇当院が目指していく、薬剤部について

名寄市立総合病院薬剤部は、薬剤師の専門性を生かし他のスタッフとともに、患者さん中心の医療を提供し、地域医療に貢献することを基本理念に業務を行い、調剤・製剤業務、医薬品管理業務、病棟薬剤管理業務を展開し、質の高い医療の提供を行い、感染制御チーム（ICT）、抗菌薬適正使用チーム（AST）、栄養サポートチーム（NST）、緩和ケアチーム、褥瘡対策チームなど積極的に参加し、**チーム医療の一翼を担っています。**

また、当院は道北三次医療圏の地方センター病院、地域周産期母子医療センターに指定されており、地域密着および地域完結型の医療を目指し、周産期医療や小児医療にも対応しており、**地域の中核病院に勤務する薬剤師として、スペシャリストな薬剤師とともにジェネラリストな薬剤師の育成に力を入れています。**

「病院完結型」から「地域完結型」の医療が求められている中で、地域医療連携推進法人の上川北部医療連携推進機構を中心に、**他の医療機関、保険薬局との積極的な連携を図り**、適切で安心・安全な薬物治療、医薬品適正使用のさらなる推進を進めていきます。

地方の中核病院だからこそ様々な経験をすることができ、仕事や院内行事を通して、多職種のスタッフとも交流を深めることもできます。そんな名寄市立総合病院に少しでも興味を持った、そんな病院で働いてみたい（みてもいいかな）と少しでも思ったら、まずはぜひ見学に来ていただければと思います。大歓迎です！！

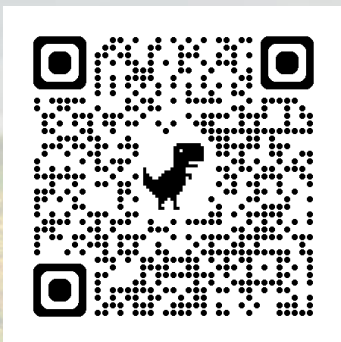
* 名寄市立総合病院の理念 *

患者さん中心の医療を提供し、地域医療に貢献します

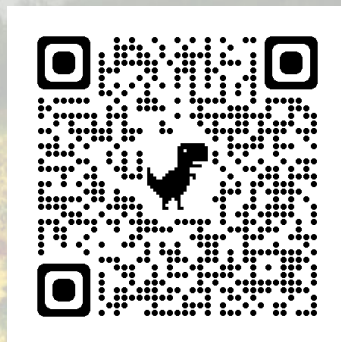
* 名寄市立総合病院の基本方針 *

1. 根拠に基づいた医療を実践し、良質で安全な医療を提供します
2. 道北三次医療圏の中核病院として、救急医療および急性期医療の中心的な役割を担います
3. 近隣の医療機関・関係施設と連携し、地域住民の医療・保健・福祉に貢献します
4. 多職種連携を強化し、チーム医療を推進します
5. 教育・人材育成に参画し、持続可能な医療提供体制の確保に努めます
6. 職員にとって働きやすい職場環境を整備します
7. 健全な病院経営に努めます

薬剤師の募集に関する情報



▲病院ホームページ(薬剤部)



▲募集案内ページ



お待ちしております！

お問い合わせ先

名寄市立総合病院 事務部総務課

職員係 担当：茂木（もてぎ）

TEL 01654-3-3101（内線2213）

MAIL ny-hosp◇city.nayoro.lg.jp（代表）/ motegi-akitomo◇city.nayoro.lg.jp

※送信の際は◇を@にしてメールを送ってください

募集や病院見学について聞きたいことがあれば気軽に問い合わせてください！
そのほか気になることがあれば何でもどうぞ！